

草木染め体験

1、目的

草木染め体験を通して、植物や文化について学び、豊かな感性と表現を育むこと

2、事業の概要

(1) 名称 「令和5年度 おでかけ公民館講座」

藺草で染めるシルクハンカチーフづくり講座

(2) 主催 八代市教育委員会

(3) 開催地 太田郷コミュニティセンター

(4) 開催時期 令和5年8月20日(日曜日) 午前10時～11時30分

(5) 内容 草木染め(藺草染め)

一人につき、一枚のシルク100パーセントハンカチーフを染色する。

3、対象者

(1) 対象 市内に在住する方

(2) 人数 10名

10代⇒1名、30代⇒4名、50代⇒1名、60代⇒3名 + 2名

班 4班構成 ①3名②3名③3名④2名と有田

4、スタッフ

藺染屋千丁(1人)、八代市の職員の方(2人)

5、参加者の持ち物

エプロン、手拭きタオル、筆記用具

6、準備物

生地、藺草、ミョウバン、持ち帰り用袋、名札用布、安全ピン、油性マジック、手袋、雑巾、洗濯バサミ、新聞紙、鍋(煮出し用)、菜箸、ゴミ袋、干場、干場用ひも、ハンガー、ネット、網、種、(藍)、エプロン、説明用シート、藍の葉、藍染(ネット、濾し器)の道具一式、ボール4、バケツ8、手袋、ポット

7、時間等

説明(15分)→名札づけ→地入れ・媒染(5分)→染浴(10分)→媒染(5分)→染浴(10分)→媒染(5分)→染浴(10分)→グラデーション染め(10分)・摺り染(希望者)(5分)→片付け等(10分) 計90分間

8、計画

時間	活動者の動き	環境構成	配慮	準備物
10:00	<p>◇班毎にテーブルにつく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生地模様など <p>◇生地を受け取る。生地に名前を書いて名札をつける。</p>	<p>◇講師用テーブル(1台)の準備をする。</p> <p>◇参加者用テーブルの準備をする(4台)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙を敷いておく。 <p>◇道具の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名札用布(1枚/1名、安全ピン1個/1名) ・配布物(絹ハンカチ・コースター布1枚/1名)の確認 	<p>◇あらかじめ班構成を考えてスムーズに配置を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名札用生地と安全ピンの確認 ・配布物の確認 ・バケツ(水用・ミョウバン用) 	<p>◇班</p> <ul style="list-style-type: none"> 雑巾(1枚/班)、ボール(大1個/班)、バケツ(1個/班)、菜箸(1組/班)、ボール(小1個/班)器(1つ/班)菜箸(1組) ◇個人 生地(シルク1枚、帆布1枚)、手袋
10:05	<p>◇全体の活動を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水分補給について 	<p>◇全体の活動の流れを説明する</p> <p>◇安全上の注意をカードでご説明をする。</p>	<p>◇説明が聞き取れない場合や説明が不足している場合は随時質問をしていただく。</p>	
10:10	<p>◇草木染めの手順を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・染浴(せんよく)と媒染(ばいせん)の話。 	<p>◇草木染めの手順をデモンストレーションしながら説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生地を使ってご説明をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火器類の安全上の確認。 <p>◇染浴ができるまでの過程を参加者と一緒に動きを追ってご説明する。</p>	<p>◇デモンストレーション用道具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘭草用ネット×1枚、鍋×1、天然ミョウバン×1皿、生地1枚

10:15	<p>◇い草をネットに入れる。 ◇班ごとにバケツの中に生地を入れる。</p> <p>◇藺草を煮出す。</p>	<p>◇ミョウバンの入ったバケツに生地を入れる。</p> <p>◇媒染液をペットボトルにあらかじめ攪拌しておいたものを用意しておき、それを染め液のボールの中に各班に入れる。</p>	<p>◇色止めと発色を促す金属についてのご説明をする。 ◇生地への浸透を良くするために水につける。</p> <p>◇手袋の着用は任意ですが、手や衣服につくと色が落ちにくいことを説明する。</p>	<p>◇鍋/菜箸(班)</p> <p>◇天然ミョウバンを溶かしたペットボトルを1本ずつ用意する。</p>
10:25	<p>◇藺草の染め液をボールに入れる。</p>	<p>◇生地を染め液のボールに入れる。</p>		<p>◇ハンドタオルで手を拭いてもらう。 ・すすぎ用バケツの準備。</p>
10:20		<p>◇洗い場で生地を洗う。</p>		
11:10	<p>◇生地を染浴から取り出す。 ・各班のボール小1個にまとめて入れて、手洗い場で個々に洗う。</p>			
11:15	<p>◇班毎のテーブルに戻る。</p>	<p>◇藍の葉をちぎって染めてもらう。(希望者のみ)</p>	<p>◇ハンカチにグラデーションをつけるなど(希望者)。</p>	<p>◇藍の葉摺り染め道具一式</p>

11:20	◇藍の葉の摺り染め体験をする。 ◇プリント配布 ◇終わりの挨拶をする。	・草木染めって何だろう？自然環境の話。	◇コースター作り（希望者） ◇水洗いで手洗い。	ハンカチ・帆布コースター ◇プリント（両面）一人に一枚ずつ。
11:25	◇持ち帰り用ビニール袋を受け取る。			◇ビニール袋は一人に2枚ずつ。
11:30	◇解散			

評価・反省（次回につなげること）

- ・参加者の皆様の活動が熱心でセンスが良く、事前に行った染色よりも美しい「JAPAN YELLOW」に染まった。
- ・ガス火による煮出しが叶ったことが染料からの染液の煮出しに良い効果があったのかもしれない。
- ・使用染料は、強力藺草とヒノミドリ。
- ・生涯学習課の職員の方2名と準備を1時間半前から行った。終わりは、解散後の1時間後に荷物を出すことができ、スムーズな活動の運営ができたことに感謝している。